町報
1994
8月
No.281

こうふ

できたての炭初窯（かま）だし

柿原集落に炭焼き窯がお目見えしました。

これは、うるおいのある村づくり事業で行ったものです。

今後は、柿原にたくさんある孟宗竹（もうそうだけ）で、炭焼きを行う予定です。

（柿原）

猛～暑のこの夏

― 江府町 ―

どげなったチロルの里は

全国から注文殺到!! 奥大山の水 水工場“ヨーデル”うれしい悲鳴

記録的な暑さとなったこの夏

全国各地では、水不足、火災など猛暑による影響は、深刻なものがありました。

さて、私たちの町江府町では、この夏をどう乗り切ったのでしょうか。福田町長にこの夏をふり返ってもらいました。

数か所 水田にポンプアップして水を供給

―猛暑による農作物の被害などはありましたか？

このような異常気象は、私自身もかって経験したことがありません。

稲作においては、この夏はもっとも、生育する時であり、カラ梅雨だったこともあり、心配をしておりましたが、おおむね順調に生育したと思います。

しかし、町内、数か所（助沢、一旦、俣野など）では水不足のために、近くの川などからポンプアップをして水を供給した所もありました。

また、野菜では、ニンジンが干ばつにより、発芽不良となり、全体の三割しか発芽していない状況で、大変心配をいたしております。

今後、関係機関と連携を密にして、対応していかなければならないと考えております。

▲江美新橋モニュメントで懇談する福田町長

フル操業の水工場 7万5千本を製造・販売

—さて、各地で水不足が深刻な問題となりましたが、六月から操業した水工場は、この水不足に、時を得て大活躍したと思いますが。

六月から本格的に操業を始めた水工場〝ヨーデル〟は町議会議員各位をはじめ町民の皆様のご尽力により、販路拡大と確保に努めておりました。

ところが、この猛暑と合いまって、飛ぶように全国各地に、奥大山の水が出回るようになりました。

全国各地からひっきりなしにかかってくる電話に担当課をはじめ水工場もフル回転で対応。増え続ける需要に生産が追いつかず、急きょ十人のパート職員を雇用し、昼夜二交代制で生産を行いました。

しかし、今度は、ペットボトル、ラベルなどの資材不足が生じ、色々とご迷惑をおかけした点もあったと思います。

—どのような方面に特に多く販売されたのでしょうか？

七月上旬は四国、七月下旬には大阪、広島が中心で、また町民の皆様からは、お中元として、全国各地に、ふるさとの水が飛び回ったといっても過言ではないと思います。

しかし、いくら町外に水を販売するといっても、町内の水不足を考慮しなければ、本末転倒です。

その点は、担当課と密接な連携を図りながら、実施してまいりました。

▲「江府町が真心の水を送ってくれて感謝しています」と語る西尾知事（県政新聞提供）

真心の水10トン 高松市に輸送

—救援水として高松市に輸送しましたが、その趣旨は？

香川県、特に高松市が深刻な水不足であるとの報道に接し、何かお手伝いできることはないかと考え、水をもっていくことを計画いたしました。

その背景には、香川県の方々は以前から地元の奥大山スキー場、鏡ヶ成スキー場を利用していただいている方が多くおられます。

また、この水不足で夏休み前から、たくさんの子供たちが県外に引っこしているとの報道を耳にしたことも、その要因で、微力ではございますが、ペットボトルで三千本（四トン）、水道水（六トン）

▲真心の奥大山の水をのせて、まもなく出発（給食センター前）
＝ この模様はＮＨＫテレビの全国放送で紹介 ＝

あわせて、十トンをお持ちしたしだいです。

この模様を全国知事会議で北海道出張中の西尾知事がテレビをご覧になっており、心から感激したとの電話をいただきました。

また、奥大山の水の宣伝については、山陰路観光キャンペーンの一環として、鳥取県が岡山市、高松市で積極的にピーアールしていただき、販路のすそ野が広がっております。

先般、四国で開催された高校の文化祭の折には、西尾知事が高校生に奥大山の水をプレゼントされたと聞き、知事自らピーアールしていただき大変恐縮いたしております。

防災無線を通じて火災防止を呼びかける

—さて、ほとんどといってよいほど雨が降らず、他町においては、山林火災などもひんぱんに発生した夏ですが？

このような猛暑が続きますと、一番心配されることは火災です。

しかし、火災が万一発生した時には、水利（消防などのための水）の確保が最重要となるのは当然のことです。

何度となく、防災無線を通じて火の元点検を呼びかけるとともに、各集落においては水利の確保に努めていただくなどの措置を講じていただきました。

特に、夏場は、花火、盆の折に使う灯ろう、仏壇の線香などの使用の注意を呼びかけ町民の皆様にご協力いただきました。

また、本年は、防災計画の見直しを行っており、各小学校区ごとの防災会議では、万一の災害に備えての対応について説明も行いました。

決して、これで十分であるとは言えませんが、町消防団とも密接な連携を図り、火災などを未然に防止するよう、今後も努めてまいります。

これからが、本格的に台風の到来する季節です。

町民の皆様には、非常品の点検（たとえば、懐中電灯、ラジオなどが使用できるかどうか）を行っていただくとともに、台風情報、防災無線をお聞きいただきますようお願いいたします。

▲積め込み作業に大忙しの水工場の従業員

豊かな森林こそ母なる大地 森林交付税の創設を訴える

—最後に、夏にかぎらず、最近、取り組んでいる課題があれば……？

前にも、述べましたように私たちの町がこうして奥大山の水や新鮮な農産物を多くの皆さんにお届けできるのも、豊かな自然の恩恵があってのことです。

特に、森林の果たす役割は重要なものがあります。

例えば、大気の浄化、水資源かん養（やしない、そだてること）、土砂流失防止など多面にわたっています。

しかし、本町においても、町民の皆様におかれても、森林の管理など難しい課題が山積しています。

つまり、森林を財産としていた時代から、それぞれの立

場に重くのしかかる時だと思います。

森林の財産的側面の領域を越えた、公益性の高いものとなりつつある今、国も財政的措置を講じる時であると強く訴えるものです。

そこで、現在ある地方交付金の枠外に森林交付税を新設することを要望してまいりたいと思います。

森林を多くかかえている町村（全国で七割）こそ、現在、著しい人口の流出、過疎化、高齢化の波が打ち寄せており、森林交付税こそ森林を守り育てるものであると確信しております。

福田町長 連盟の県代表理事に

今、森林交付税創設促進連盟に加入している市町村は三二六市町村（平成六年一月十九日現在）です。鳥取県町村会でも連盟加入が決議され、私が県代表理事に推せんされました。

本町においても、今後、積極的に支援してまいりたいと考えております。

第三セクター 7月14日スタート

江府町地域振興株式会社発足する

農林業の受委託業務などを行う

21世紀の町づくりを行う上で、第三セクター方式による地場産業の育成こそ地域振興の重要ポイントです。

このたび、江府町でも、種々検討を重ね、江府町地域振興株式会社が七月十四日に発足しました。

●事業目的

・農林業の担い手確保による事業

・水工場等公的事業受託開発

●事務所の所在地

江府町大字江尾四七五

江府町役場内

会社の概要

●資本金 二、五〇〇万円

●出資者・発行株数

五百株（額面一株五万円）

内訳

株式	所有株数	出資金
江府町	二二〇株	一、一〇〇万円
農　協	一〇〇株	五〇〇万円
森林組合	一〇〇株	五〇〇万円
商工会	八〇株	四〇〇万円

役員

代表取締役	福田正臣
取締役	白石秀之
取締役	川上卓雄
取締役	宇田川潔
取締役	藤原　要
監　査	住田孝治
監　査	中村真佐雄
監　査	宮本勅寛

第三セクターとは何んですか？

公益性の高い開発事業を行うための第一セクター（公企業）と第二セクター（民間企業）とが共同出資して事業体をつくり、ことにあたる方式をいいます。

地域開発を中心とする公共開発事業に私企業の資金や、その効率性を導入することが目的です。

江府町の先人を紹介

江戸時代「人づくり風土記・鳥取」

▲江戸時代に活躍した人材をひろく紹介（町図書館）

農山漁村文化協会が発行した「江戸時代人づくり風土記㉛鳥取」に江府町出身の伊藤宜堂と下原重仲が紹介されました。

この本は、当時の生活様式をはじめ、その時代に活躍した先人（せんじん）たちの息づかいをわかりやすく紹介した郷土史です。

執筆にあたったのは、洲河崎の影山猛さんと池の内の小田隆さんで「難解な用語にも、詳しく説明がつけてあり、わかりやすい一書です。ぜひ一読を」と語っていました。

農林産物に多大な被害 御用だ！イノシシ

イノシシの捕獲柵を設置

▲大きな捕獲柵が完成した（久連・大谷）

七月十七日、二十四日の両日、久連の大谷、荒田、下安井の町内三か所にイノシシの捕獲柵を設置しました。

これは、県の補助事業で行ったもの。最近、農林産物をあらすイノシシが増加し、多大な被害があるため、このほど、大掛かりな捕獲作戦となったものです。

第3位の栄誉に輝く

江府町消防団 第1分団

＝鳥取県消防ポンプ操法大会＝

▲帰町報告をする選手たち（役場前）

七月二十四日、倉吉市で開催された鳥取県消防ポンプ操法大会に江府町消防団の第一分団が西部地区を代表として出場しました。

照りつける夏の日差しのなか、この日を目標に訓練を重ねてきた選手たちは日ごろの成果を十分に発揮し、見事な操法を行いました。

その結果、第三位の栄誉に輝きました。

出場メンバー紹介（敬称略）

指揮者　勝見　純
一番員　関内隆文
二番員　篠田貴志
三番員　小谷幸之介
四番員　徳岡貴史
補助員　久代領樹

江府中学校に新しい英語指導助手

デニスさん来町

アメリカ
デトロイト出身

▲福田町長と握手するデニス先生

ミッシェル先生の後任として、二学期から江府中学校で英語指導助手として勤務されるのは、デニス先生です。

デニス先生は、アメリカのデトロイト出身で、バスケットが大好きだそうです。

兄弟は五人で、デニス先生は下から二番目。

日本に来る前までは、カリブ海にあるドミニカに二年間海外協力隊として活躍し、スペイン語もペラペラです。

「日本に来たのは、はじめてで、日本語はあまり話すことは今はできませんが、これから勉強したい」と語るデニス先生は、長身で誠実いっぱいのアメリカ青年です。

飲酒運転締め出しキャンペーン

やめてください 飲酒運転

7月15日
12月31日

▲藤原助役に啓発用グッズが手渡された

飲酒運転をぼく滅するために、このたび飲酒運転締め出しキャンペーンが七月十五日から十二月三十一日の間、行われています。

飲酒による交通事故などが多発しており、溝口地区交通安全協会では、飲酒運転締め出しの啓発用グッズを手渡し、交通事故のない町にと呼びかけました。

みんなで清掃 じげの川

根雨土木事務所
愛漁会
など多数参加

▲猛暑のなか、清掃に汗を流す皆さん(船谷川)

八月六日、恒例となった「じげの川」の清掃を根雨土木事務所、江府町愛漁会、役場職員が行いました。

作業が行われたのは船谷川周辺で、炎天下のなかを、生い茂った雑草を刈ったり、捨てられたままになっている空缶などビニール袋に入れていました。

準備していたトラックは、雑草やゴミ袋で見る間にいっぱいに。じげの川はきれいになりました。

どこでも学ぼう

■生涯学習システムづくり■

生涯学習

4月・5月号で、「科学技術の進歩」・「余暇時間の増大」・「学校教育体系の見直し」についてふれました。今回は、「その他の理由」・「生涯学習について国や県の取りくみ」について、ふれてみたいと思います。

◎その他の理由

今まで、生涯学習が必要になってきた社会的背景について主な要因を上げてきました。

これらのほかに、物の豊かさによる消費の増大や少子化によって集団活動の比重が低下したこと等、家庭・社会の変化をはじめ、価値観の大きな変化等は新たな生活態度や生活様式を生みだしました。

二十一世紀初めの労働市場では正規労働者が激減し、その分だけはパートタイムやアルバイト等の非正規労働者が増えるものと予想されています。

このような変化に対応していくためにも、今までの「いい就職のためにいい学校へ」「知識こそ学力」という従来の教育観を転換して、生涯にわたって学習し続ける態度つくりが大切になってきました。

◎生涯学習について

国や県の取りくみ

それでは生涯学習についてどんな取りくみをしてきたか、その考え方や推進の経緯についてふれてみます。

＝昭和四〇年＝　ユネスコ成人教育会議で生涯にわたる教育の考え方が提唱されたことはすでに述べた通りですが、そこでは「学校教育が中心で社会教育はそれを補うもの」という従来の考えを変えて、生涯にわたる教育を進める必要性が指摘されました。

＝昭和四十六年＝　生涯教育の視点に立って、家庭教育・学校教育・社会教育の見直しをする必要があることが答申されました。（社教審より）

＝昭和五十六年＝　生涯学習の概念が明確に示されました。

＝昭和六十二年＝　前述のように臨教審より「生涯学習体系への移行」についての答申。

＝昭和六十三年＝　文部省に生涯学習局が設置されました。

＝平成二年＝　生涯学習振興のための法律が制定され、基盤整備の在り方も示された。

（鳥取県では）

＝昭和五十七年＝　いち早く、生涯学習モデル市町村を指定。

＝昭和六十一年＝　県知事を本部長として生涯教育推進本部が発足し、生涯学習審議会条例も制定される。

その後、県下の大半の市町村が取り組み、諸事業がすすめられています。

ミニギャラリー

◀作品の前に立っている青砥未沙子さん（江府町立図書館で）

九月下旬頃まで、書道二人展を開催いたします。

これは、新道・青砥未沙子さんと、貝田・藤原織恵さんの高校生二人による作品展です。ぜひ、おいでください。

夏（線香花火）

夏と言えば花火、打ち上げ花火・ねずみ花火など多種多様。そして何故か最後に残るのは線香花火。この線香花火のしめくくりはとてもいいもので、よくできていると納得させられる。火というのは何故か、人の心をハイにする。ましてやそれが火薬となればなおさらで、火の粉をまき散らす棒をふり回し、走り、叫び、また次に火をつける。

そうやってひとしきり遊んだあとは、ポカッと不思議な疲労感。そんな泡立った心を鎮めてくるのが線香花火だ。静かなおだやかな音とあたたかい橙色の火、じっと見つめていると、あの橙色の小さな火の玉が、ブルブルふるえながらやわらかい火花を散らす。やがて最後の最後までがんばった火の玉が、ポタリと地面に落ちると、ホッと肩の荷が降りる。それを幾度か繰り返すうち心はすっかり平隠に戻っている。

「日本の暮らしと小物たち」より

■生涯学習伝言板■

いつでも学ぼう

思いやりは一冊の本から

No.26 図書館だより

江府町立図書館（75-2223）

暑い季節に!!

うだるような日中の気温がフッと気をぬく夏の夜。縁側で星の数をかぞえながら飲むビールもよし。またビヤガーデンで、時々しか吹かない風をものともせず、喧騒の中、ジョッキのビールをグッとあおるもまたこたえられません。

広辞苑によると、ビールとは『酒精飲料のひとつ、麦芽（主として大麦）を粉砕して水とともに加熱し、糖化した汁にホップを加えて苦味と芳香とをつけ、これに酵母を加え発酵させて造る』とあります。近頃では手造りビールなどもあるそうですが、汗をかいた後の冷たいビールは最高。

今年の夏の暑さは特別で、クーラーが飛ぶように売れているそうですが、この夏をのり切るためにいろんな妙案をひねり出しておられることと思います。

日中の暑いうちはなるべく動きまわらず、作業は朝夕の涼しいうちにかたづけるとか、汗をかいたらシャワーを浴びるとか、また外に出る時は必ず帽子を被るなど、簡単で誰にでもできる方法です。それからプールで水しぶきをあげて泳ぐとか、氷屋さんでかき氷をつくのも一案……そして、そして、クーラーのきいた図書館で静かに読書も一計です。あなたはどの方法で暑さを凌がれますか？

ところで、子供たちにとって待ちに待った夏休みですが、帽子を被るももどかしく捕虫網を手に外に飛び出して行く元気な姿は昔も今も変わりませんが、理科の自由研究、昆虫採集等夏休みの家庭学習の参考になる本。時間をかけてじっくり読むための少年少女向けの本。寝苦しい夏の夜、「ホントかも知れない」と思うともう寝られなくなる恐い話しなど、図書館には、楽しい本・ゆかいな本・ミステリーな本・ふしぎな本などが、たくさんそろっていますのでご利用ください。

▲図書館での学習状況

涼しい図書館で勉強をすると能率アップまちがいなし!!

〈新着図書のご紹介〉

○将軍の娘　ネルソン・デミル
○ダカールへ　立松和平
○天の調べ　芹沢光治良
○美しき月曜日の人々　夫馬基彦
○群体（クラスター）　藤原智美
○絹の日土の日　徳川幹子
○泥水のみのみ浮き沈み　勝新太郎
○安井かずみの旅の手帖　安井かずみ
○ペリカン文書　ジョン・グリシャム
○依頼人　ジョン・グリシャム
○熱　高樹のぶ子
○小さな悪魔の背中の窪み　竹内久美子
○白衣の騎士団　コナン・ドイル
○アムリタ　吉本ばなな

☆今月のおすすめ

○東京バカッ花　室井　滋

純真な女子大生が、はまってしまったバイト稼業。恥ずかしくも懐かしい青春時代のあやまちとは!?絶好調室井滋「むかつくぜ」「キトキトの魚」につづく待望の第3弾。読めば元気がわいてくる。

お知らせ

9月1日(木) 防災訓練を行います

このたび、鳥取県では九月一日に全県下において防災訓練を行います。

これは、境港市の沖合いでマグニチュード六の地震が発生したとの想定のもとに行われるもので、江府町でも災害が起こり、その救援活動なども行います。

なお、江尾区（本一、本二、本三、本四、新一、新二）の皆さんでご都合のつく方は、災害が発生したと同時に、上之段広場に避難いただくようにお願いします。

（お集まりの皆さんには、粗品を差し上げます。）

当日は、防災無線などで一早く情報を伝える訓練も行いますので、ご協力を何卒よろしくお願いします。

法務局から 最低資本金を満たすための増資等の登記は早めに

平成二年の商法の一部改正により、会社の最低資本金制度が平成三年四月一日から導入されました。

この最低資本金とは、会社の資本金の最低額を定めた制度で、株式会社は一〇〇〇万円以上、有限会社は三〇〇万円以上であることが法律で義務づけられています。

平成八年三月三十一日までの期間に最低資本金が満たしていない会社があると、それは解散したものとみなされ、営業上多大の支障が生じることになります。

そのためにも、増資または組織変更の登記をする必要がありますので、十分ご注意ください。

なお、詳しくは次の所にお問い合わせください。

●お問い合わせ先

鳥取地方法務局根雨出張所

☎〇八五九(七二)〇一四五

町村職員 採用資格試験 しめ切り九月二日まで

●職種

一般事務・保母

●受験資格

・一般事務

江府町の在住者（出身を含む）で昭和四十三年四月二日から昭和五十二年四月一日までに生まれた方。

・保母

江府町の在住者（出身者を含む）で昭和四十三年四月二日から昭和五十年四月一日までに生まれた方。

●第一次試験

・日時・場所

平成六年九月十八日(日)

米子市

●試験方法

教養試験・作文試験

●第二次試験

第二次試験は第一次試験の合格者についてのみ行います。

●受験手続・受付期間

・申込用紙の請求・提出書類は役場総務課・西部町村会事務局（次の住所）に申込用紙がありますので、記入の上、平成六年九月二日(金)までに西部町村会事務局に提出してください。（なお、同日までに到着するように郵送されてもかまいません）

●お問い合わせ先

西部町村会事務局

米子市糀町一丁目一六〇

☎〇八五九(二二)二〇四九

暴力団とのもめごとは 県暴力追放推進センターへ

暴力追放運動推進センターでは、暴力団を壊滅させるために、次のことを行っていますので、お気軽にご相談ください。

●暴力追放相談委員（弁護士保護司・少年指導委員・警察OBなどの専門家六人）が民事、刑事を問わず暴力団に関するすべての問題についての相談を受け付け、解決に向けてのアドバイスを行います。

●暴力団員による不当な行為により被害を受けた人に見舞金の支給並びに民事訴訟支援のための裁判費用等の無利子貸付けなどを行います。

●お問い合わせ先

鳥取市本町三丁目一〇二

鳥取商工会議所内

鳥取県暴力追放運動推進センター

（無料電話）

☎〇一二〇(一九)八九三〇

チャレンジ精神ですべてに挑戦!!

自衛隊米子募集事務所を訪ねて

「夢ある自衛隊に君たちも」と語る米子募集事務所の田中所長(右)・澤田(中)・赤尾(左)両広報官

国を守り、万一の災害の時には真っ先に救助に向かう自衛隊。その自衛隊にどんな動機で入隊されたのか、米子募集事務所の田中所長、赤尾・澤田広報官にインタビューしました。

田中　私の場合、かって自衛隊が米子市をパレードしていた時に、きりっとした制服にあこがれて入隊したのがきっかけです。

赤尾　親せきに自衛官がいていろいろと話も聞いていました。公務員であり、しかも、様々な車両免許の取得ができることや一般社会では経験できないこともたくさんあり、魅力を感じていました。

澤田　私は叔父が自衛官でしたので、身近かに感じていました。何の違和感もなく入隊し、高校時代のクラブ活動の延長のような感じで、とても楽しいです。

詳しい内容についての問い合わせは次の所にしてください。

●お問い合わせ先

自衛隊米子募集事務所

☎〇八五九(三三)二四〇〇

■　自　衛　官　募　集　■

主な募集要項	資　格	受付期間	試験期日
看護学生	高卒(見込)で22歳未満の者	10月3日～10月31日	1次　11月9日 2次　12月1日～4日
防衛大学校 学生	推薦高卒(見込)で21歳未満の者	9月5日～9月9日	9月17日～9月18日
	一般高卒(見込)で21歳未満の者	10月3日～10月31日	1次　11月12日～13日 2次　12月13日～16日
防衛医科大学校学生	高卒(見込)で21歳未満の者	10月3日～10月27日	1次　11月5日～6日 2次　12月7日～9日

行事あれこれ

8月・9月

※会議などによっては、場所・時間などが変更になることもありますのでご確認ください。

日付	行事予定	日付	行事予定
8／29(月)	江尾小学校校舎改築起工式(10:00)	9／4(日)	
30(火)	西部議員ソフト大会(西伯町)	5(月)	
31(水)		6(火)	
9／1(木)	防災訓練	7(水)	金婚者記念品贈呈
2(金)		8(木)	西部町村長会(米子市)
3(土)		9(金)	救急の日 西部民協福祉問題研究会(白住荘)

健康いちばん

献腎登録にご協力を

善意の腎臓提供でよみがえる人生

平成六年四月、財団法人鳥取県腎バンクが発足しました。

腎バンクは、腎不全患者と善意の腎臓提供者とのかけ橋となる組織で、県民・民間団体と県・市町村などの行政機関が一体となってつくられたものです。

腎臓は、体内の老廃物をろ過して尿を作ったり、増血や骨の代謝に必要なホルモンを生成する役割を持った大切な臓器です。

この腎臓の機能が極端に弱まって腎不全の状態になると体の内部環境を整えることができなくなり、生命を維持するために、週二～三回、一回当たり四～五時間かかる人工透析を受けなければならないので、日常生活、社会活動に大きな制約を受けることとなります。

腎臓移植希望者 全国に一万七千人

これを救う根本治療は、腎臓の移植しかありません。

しかし、肉親（親子、兄弟）からの生体腎移植のできる方は極めて限られているため、亡くなられた方からの腎臓移植を希望し、血液型やHLA（白血球の型）検査を終えて、腎臓を待っておられる方が全国で一万七千人にも上っております。

しかし、わが国では死後の腎臓の提供が少ないため、腎不全患者の希望にこたえることが難しい状況です。

大きな人類愛によりあなたからの愛と健康の贈りものとして、献腎にご協力ください。詳しくは、次のとおりです。

●申し込み方法

献腎を希望の方は、役場・福祉保健課に「腎臓提供者登録申込書」に記入の上、投かんしてください。後日、腎臓提供者登録カードを送ります。

●その他

十六歳以上で健康な方であれば、どなたでも申し込みできます。検査も費用も必要ありません。

●お問い合わせ先

鳥取県腎バンク
鳥取市東町一丁目県庁内
県福祉保健部医務薬事課
☎〇八五七（二六）八三〇六

〈腎臓移植体験者の手記〉

善意の腎提供で甦（よみがえ）った体

東京都　大久保　宗　平

いまから3年前、私は善意ある方から腎臓の提供を受け、移植手術をしていただいた1人です。

それまで私は夜間透析を受けながら仕事を持ち、食事と水分制限のなかで生きてきました。特に透析の翌日は起きるのが辛く、そのうえ胃腸も弱かったため、お粥をすすりながら会社へ出勤するのもたびたびでした。また、異常なかゆみに悩まされて、眠れない夜もありました。

こうした生活を五年半続けたある日突然、移植コーディネーターの方から電話をいただき「善意ある方から腎提供の申し出がありますが」と言われた時は驚きと不安で体が震えどのように対応してよいのかわかりませんでした。もちろん移植希望の登録はしていたのですが、日本では宝くじの確率より低いと聞いていただけに移植は不可能と思い込んでいました。ですから、この時ほど移植に対する心構えが出来ていなかったことを後悔したことはありませんでした。結局自分だけでは結論を出せず、先生に相談し、手術台に乗ることになったのです。

幸い手術は成功し、心配していた拒絶反応も無く、移植後は一度も透析を受けていません。不思議なことに、移植を受けて以降は頭の中がスッキリし、皮膚にも赤味がでてきてかゆみもなくなりました。おおげさな言い方かも知れませんが、頭から指の先までが甦ってきたような気がしました。

退院してからは家族と同じ物を食べたり飲んだり、そして子供たちとも元気にさわいでいますので、家の中があかるくなったとみんなが喜んでいます。また、会社もいままでの職場に復帰が叶って仕事も人並みにできるようになり、生きているという実感と自信も出てきました。

夢の夢と思っていた移植がかなったのは、何と言っても善意ある方からの腎提供があったからこそです。そして移植コーディネーターの方、先生・スタッフの方々、間接的にお世話になった多くの皆様方のおかげです。今は移植をしていただき本当に良かったと思うと同時に、感謝の気持ちで一杯です。

これからは甦らせていただいたこの生命を大切にしていくとともに、腎臓移植を待ち望んでいる仲間のために少しでも役に立てばと考え、患者会の役員もおおせつかって活動を続けています。こうした活動も、お世話になった皆様方への恩返しの一端になるのではないかと思い、今後も頑張って行くつもりです。

人の動き

7月届

平成6年7月届

		前月比
世帯数	1,255世帯	(－1)
人口	4,556人	(＋1)
男	2,175人	(－5)
女	2,381人	(＋6)

お誕生 おめでとう

(住所)	(出生児)	(保護者)	(続柄)
美用	下垣 杏奈(あんな)	吉正	長女
本三	中川 知夏(ちか)	秀樹	二女
大河原	神庭 海優(みゆ)	賢一	長女
貝田	森田 菜月(なつき)	輝寛	長女
袋原	千藤 紗也(さや)	誠	長女

ご結婚 おめでとう

田中 哲夫 ― 柿原 杉村美由紀 ― 米子市から

藤原 裕司 ― 小江尾 江崎 信子 ― 福岡県から

ごめい福を祈ります

(住所)	(氏名)	(年齢)	(世帯主)
白住	本田 文男	81歳	本人
洲河崎	佐々木 昇	78歳	詔男
日の詰	中尾 悦子	84歳	彰人
佐川	清水 吉久	89歳	滋
貝田	森田 金重	72歳	本人
一旦	宇田川 美智子	51歳	勝
本二	關内 忠	85歳	本人

ひとこと・ふたこと

いつもあるのが、当然と思っていると…

水不足から思うこと

むだ使いのたとえに「湯水のように使う」ということをいいますが、今年の夏ほど、こんな罰あたりな言葉はないように思いました。

連日のニュースの冒頭はまず天気のこと。「きょうは、○○市で観測所始まって以来の気温」と。記録更新の話題。日射病で病院に担ぎ込まれる人、多発する火災など。猛暑という表現ではなまぬるいと思ったのか、テレビ・新聞も酷暑(こくしょ)(ひどく暑い)と見出しに。何度も寝苦しい夜が続き、ヘトヘト状態でした。

なかでも、全国各地に起った水不足による節水、給水制限は、日常生活を一変させました。

一枚の皿を洗うのに、わずかな水で洗ったり、水洗トイレでは、まとまってから洗い流すなど涙ぐましい工夫が随所に見られました。

普段、何げなく、使っている水、蛇口をひねると必ず水は出てくるものと思っている私たち。

いかに、水が豊かな自然に

あたり前であることのありがたさ

はぐくまれ、そして、多くの人々の力にささえられているのか、感謝を忘れてはならないと思います。それは、水に限らず。

酷暑の夏に、だれもが実感した、あたり前であることのありがたさを。

編集後記

▼連日、鳴り響く電話の音。「高松の友人に三箱送ってください」、「広島の親せきに二箱すぐ送って」と役場に、水工場ヨーデルにひっきりなしに注文の電話。担当の課も、水工場もてんやわんやのうれしい悲鳴。

もし、水工場がなかったら。もし、昨年のような冷夏だったら。様々な思いが頭のなかをかけめぐるが、担当課の職員は、お役に立てたことが一番と満足の笑顔。

水工場のスタートはいきなりの最力出走となった酷暑の夏でした。

▼はきはきした受け答え。きりっときまった制服の姿はまさにりりしい。婦人自衛官の澤田広報官にお会いしての第一印象。あらゆる職場に女性が活躍する時代。「結婚しても、今の仕事を続けますか」と質問しようと思ったが……できず、ちょっぴり後悔する。

▼三人目の英語指導助手はアメリカのデトロイト市生まれのデニスさん。江府町では、はじめての男性。日本に来るまでは、ドミニカに住んでいて、スペイン語もペラペラ。でも、日本語はこれから。一年間、頑張ってくださいネ。

元気で～すヤング ⑤

テニスで汗を流しています

JA鳥取西部勤務 山岡晴生さん（22歳）

今年の7月から町青年団長に。文字どおり町の青年の顔…山岡さん。健康的に焼けた顔に白い歯がまぶしい。

＊つとめて何年になりますか？

4年目になります。この8月から、JAが生まれ変わり、ぼくも気持ちを新たに仕事に頑張りたいです。

＊行ってみたい所は？

向井さんのように宇宙に行けたらなあ。

＊好きな女性のタイプは？

やさしい人。

＊今、やっていることは？

テニスです。ほかには、ドライブ、ボーリング、カラオケなど。

ちょっぴりはにかんだ笑顔が愛らしい下垣さん。

B'zのサウンドに今、夢中です

江府町観光協会勤務 下垣真智子さん（19歳）

＊つとめて何年になりますか？

今年の7月からで、まだあまりよく分りませんが、足手まといにならないように、頑張ります。

＊行ってみたい所は？

岡山県の津山市です。私の好きなミュージシャンのふるさとです。

＊好きな男性のタイプは？

もちろん、B'zの稲葉さんです。

＊趣味は？

イラストを書くことですね。

発行・江府町役場
〒689-44 鳥取県日野郡江府町大字江尾475
☎0859(75)2211 FAX0859(75)2389
編集・総務課 印刷・冨士印刷